

## 松平春嶽公と橋本左内先生の春山 — 清新な文化と歴史のまち、学びのまち —

春山公民館

### 1 春山の名付け親は松平春嶽公



【橋本左内先生胸像】

春山は明治7年の町名改正にあたり、第16代福井藩主松平春嶽公の号にちなみ、「春」はそのまま引用し、「嶽」は同義の「山」をあて命名された地名である。また、春山は西郷隆盛が明治10年に故郷鹿児島で亡くなる瞬間まで左内の手紙を肌身離さず持ち、「その才

教、学問、識見といい、到底自分が及ぶものではない」と称賛した橋本左内先生を育んだ地である。

#### (1) 春山公民館の橋本左内先生胸像

春山公民館図書コーナーに等身大の橋本左内先生胸像と座右の銘の木碑が飾られている。胸像は福井市市体育館前にあった青年の家3階大講堂で50有余年、青雲の志を抱く若者を見守ってきた像であり、平成21年、同館取り壊しに伴い春山公民館にお迎えをした。また、木碑には左内先生が愛用の本箱のフタに書き込み自らの修養の目標とした言葉、「急流中底之柱即是大丈夫之心(はげしい流れの中に、たおれず、流されず、毅然と立ってがんばる底柱、これぞ男子の真の姿である)」が書き記されている。

#### (2) 春山地区の概要

春山は藩政時代から戦前にかけては北陸道と北国街道が合流し、福井城下の交通の要であり商工業の中心地であったが、今では文教・法律・司法の町として様々な顔を持ち、福井大学、藤島高校、啓新高校、明道中学校、春山小学校などの学校施設、また県立美術館、市立図書館、文化会館、市民福祉会館、フェニックスプラザなどの文化施設、裁判所や法務局・税務署の合同庁舎など、多くの施設がある。

### 2 橋本左内先生を育んだ春山

橋本左内先生は天保5年、福井城下常盤町(現、

春山2丁目)で医家に生まれた。幼いころから学問を好み15歳の時に「啓発録」を著し、16歳の時大阪に出て緒方洪庵の適塾で蘭学、西洋医学を学び、帰国後は藩医として父の後を継いだ。21歳のとき江戸に出てさらに蘭学を学び、24歳で藩校明道館の学監同様心得に任じられ、その後藩主松平春嶽公に仕え、将軍継嗣問題や外交問題等の国事に奔走した。昭和33年、左内先生100回忌を機に福井市に橋本左内先生顕彰会が設けられ、毎年4月11日に生誕祭が今日まで連綿と執り行われている。

#### (1) 生誕地と御物啓発録碑

春山2丁目の生誕地には左内先生が育った宅跡を示す石柱と左内先生の産湯に使われた井戸とともに“常盤の井”の標石、そして“御物啓発録碑”が保存されている。御物啓発録碑に刻まれている「啓発録の5訓 “去稚心・振氣・立志・勉學・擇交友”」の筆跡は、左内先生が24歳のとき愛用の古い書類箱の底から出てきた自筆啓発録を改めて清書し直したものが明治になり御物として皇室に献納された「御物啓発録」より謹写したものである。



【生誕祭と生誕地】



### 3 清新な文化と歴史のまち、学びのまち

#### “学びのまちづくり”宣言

私たちは学びます ふるさとの歴史や文化を  
私たちは学びます 春嶽公や左内先生や多くの人々を  
私たちは学びます 家庭で 学校で 地域で

\* H22年10月公民館まつり式典  
春山小学校6年生代表が宣言

#### (1) “春山っ子”と橋本左内先生

春山小学校の児童は6年生になると全員が生誕祭

に参列し「橋本左内先生を讃える歌」を斉唱する。

“橋本左内先生を讃える歌”（二、三は省略）

一.常盤の松の 色にはえ 堅きみさおの 先覚者  
その身は医家に 生まれしが  
皇国をおもう ひとすじに 貫きとおす 金剛心  
四.苦冤は洗い 難くして 二十六年 玉と散る  
列士千古の いさおしは  
足羽の水と とこしえに 流れて清く 芳しき

生誕祭に参列した6年生は「左内先生をしっかり学び、歌詞の意味するところを理解し一生懸命練習した、この歌を歌うことは春山っ子の大きい誇りと話し、以下の趣旨の感想文を書いている。

《橋本左内先生生誕祭がありました。来ひんの人がいっぱい来ていました。そして毎年続けているということは、とても大切な式であるんだなという風に感じました。こういう事が毎年行われているということは、地区の人は左内が偉大だったと思っているのではないかと思います。10年後も50年後も、この式が行なわれる事を祈っています。》

また、6年生になると総合的な学習の時間に「橋本左内先生に学ぼう」と一人ひとりがテーマを決め、図書室で資料を調べ、地域の“左内塾”のメンバーなどから話を聞き学習を進め、A3版の「左内新聞」作成し、公民館まつりでその成果を発表している。

地域の偉人左内先生について調べその生き方や行動に関心を持ち、見聞を広げ、郷土愛を養うことが活動の目的である」と教員は語る。



【春山小学校6年生  
橋本左内新聞】

## (2) 春山地区に広がる学びの輪

春山は「清新な文化と歴史のまち、学びのまち」を掲げ、「私たちは学びます、家庭で、学校で、地域で」をモットーにさまざまな事業に取り組んでいる。公民館では毎年12月に橋本左内先生カレンダーを作成し、生誕祭に参加した6年生の集合写真を載せ、地区に全戸配布している。また、平成24年には冊子「春山のほこり橋本左内先生」を発刊し地区全戸に配布した。平成27年は、春山小学校創立100周年

記念事業として発刊された小中学生向け「橋本左内先生読本」の復刻を計画している。また、様々な学びの講座や学習を実施しており、地域での仲間づくりや絆づくり、まちづくりに大きく寄与している。

近年実施した少年教育の一端を紹介する。

### ① 子どものお花教室、お茶教室

子どもたちが伝統文化・生活文化に触れ豊かな人間性を育むよう、友と助け合いながら、1年を通じて学んでいる。公民館まつりでお茶席・生け花作品展で学びの成果を発表している。

### ② 子どもたちと福大生との交流

福大生のサークル活動と連携し、小学生が地域に目を向け行動範囲、交友関係を広めることを目指す。

- ・ゲームを通し防災・防災食を学ぶ防災教室
- ・福井大学に隣接する雑木林で、自然と触れ合うネイチャー教室（肝試し、巣箱作りなど）

## 4 春山が誇る“全員参加の住民活動”

春山は、昭和39年の福井市市民憲章制定を機に、すべての地区民が地域活動に参加できるように、「親切運動部」「健康増進部」「環境美化部」「きまりを守る部」「文化教養部」の5つの部会を立ち上げ各部に自治会長（75名）と公民館運営審議会委員（20名）が所属し、運営審議会委員は各部の正副部長として指導的な役割を担っている。こうした、独特な取り組みは全員参加の住民活動として評価されている。

### ＜おわりに＞

私たちは、清新な文化と歴史を守り伝え、誇れる春山を作り上げてこられた多くの先達・先人・地区の皆さまに、感謝の念を捧げ、これからも皆さまの熱き思いをしっかり受け継ぎ、さらに新しい息吹を吹き込んでいきたいと考える。現在掲げているまちづくりのテーマ「春嶽公と左内先生の春山～清新な文化と歴史のまち、学びのまち～」と「学びのまちづくり宣言 ～私たちは学びます 家庭で 学校で 地域で～」は春山地区の永遠の誓いである。

春山公民館は、地区にある様々な社会的・歴史的資源や文化的な課題を把握、それらを「まちづくり」推進のための活動につなげてきたことが評価され、平成18年度文部科学省優良公民館として表彰されました。「学びのまちづくり宣言」を基に、全員参加の意欲的な住民活動の取組内容を紹介しました。